



1月30日(火)~2月1日(木)に、1・2年生合同のスキー教室が実施されました！雪不足が心配されましたが、無事に実施することができました。当日はご覧の通り晴天に恵まれ、スキーだけでなく、素晴らしい景色も楽しむことができました。

生徒たちの感想をお届けします。

先輩が転びながらも楽しく滑っている様子を見て、恐怖心を持ったままでしたら上達しないと気づかされました。スキーの楽しさは、「失敗を恐れずに上達すること」だと感じました。

中学1年 佐藤 碧音（福島市立三河台小学校出身）

ホテルのエレベーターで外国の方と話す機会がありました。始めは英語で話し、その後は日本語で話してくれました。私は、もっと英語を得意になって、いろいろな方と話をしてみたいと思いました。

中学1年 三浦 彩瑛（伊達市立伊達小学校出身）



最高学年となるこのタイミングで、たくさんの学びを得ることができて本当に良かったと思います。スキー教室は、技能の向上だけでなく、マナーを考えた行動や仲間たちと協力することが最も重要なのだと思いました。

中学2年 草野 悠乃（二本松市立安達太良小学校出身）

「自転車と同じで、一度やったら体が覚えている」という言葉を信じて挑戦し、この言葉は本当なのだ実感することができました。とても上手な一般の方の滑りを参考にして、目標であるパラレルターン習得のために努力することができました。

中学2年 高橋 琉緒（桜の聖母学院小学校出身）

